

# 日韓市民ネットワーク・なごや

会報 No.33

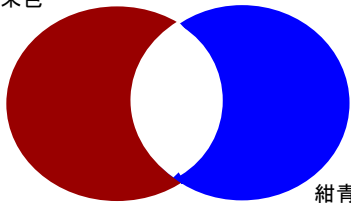
2006-4-15

일한 시민 네트워크 · 나고야

Home Page : <http://www.nikkannet.jp/>

発行者：後藤 和晃  
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238  
TEL/FAX 0587-56-6788

朱色



紺青

目次

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1. 事務局通信       | 統括幹事：後藤和晃 |
| 2. ニュース        | 事務局       |
| 3. 会の活動報告とお知らせ | 事務局       |
| 4. 会の行事参加者の声   | 参加者の皆さん   |
| 5. 会員の広場       | 会員の皆さん    |
| 6. ソウル便り       | 二日市 壮さん   |

## ◇ 事務局通信

事務局 統括幹事：後藤和晃

### ( 1 ) 第 9 回総会を終えて

去る 3 月 26 日 ( 日 )、私たちは名古屋韓国学校で第 9 回総会を開きました。総会では 2005 年度に実施した行事を確認したあと、2006 年度の活動予定と新しい事務局態勢を例年のように淡々と決めました。そんな中、私は 1998 年 2 月に発足した会が ( 思いもよらず ) 9 回目の総会を迎えられた事に深い感慨を覚えずにはられませんでした。

それというのも、当初、事務局の中心にいたメンバーの多くが病気で亡くなったり、退会したり、実質的な任務が果たせなくなったりで、会の存亡の危機が何回もあったからです。

これらの人たちと会創立の頃に誓いあった言葉がありました。

「交流相手の韓国の友人たちに “日韓市民ネットワークは、たった 2~3 年で腰を折ったのか！？がっかりさせるなあ！” と言われたいよう少なくとも 5 年は活動を続けたいね。」…でした。

いま私たちの会は当初の誓い通り、5 年どころか 8 年目の坂道を越え 9 年目の峠にさしかかっています。事務局の感慨もご理解頂けることでしょう。過去 8 年の中では 8 年目の去年は、愛知万博の影響もあり、私たちの活動のピークと断言できるほど内容の濃い一年だったことは皆さん周知の通りです。振り返ってみますと、去年の会は従来の活動にとどまらず、新しい分野に踏み出して行きました。

豊山町の委嘱を受け、8 ヶ月にわたって韓国

理解講座や韓国語講座を展開したのをはじめ、メールマガジン「東海地方・日韓ニュース」の配信開始や、韓日歴史文化フォーラムの運営の一翼を荷うなど、活動の幅を確実に広げたのではないのでしょうか？

9 年目を迎える今年一年も、こうした方向をさらに進めていけるよう、新しいパワーを事務局に導入しながら努めて行きたいと考えています。



すでに 4 月 9 日 ( 日 ) には豊山町の公民館で会員たちが中心になって立ち上げたハングル自主講座 ( 講師も会員の留学生 ) もスタートしています。会員の力を寄せ集めて紡いできた日韓

市民ネット8年の歴史を、今年に続けていただきますよう、会員の皆さんのご協力を切に願

いします。

## ( 2 ) NHK 会長から感謝状を受けました！

### ～ 第 81 回放送記念日に～

3月22日は日本で放送が始まったことを祝う81回目の放送記念日でしたが、この日 私、後藤和晃（元プロデューサー）に対し、橋本元一 NHK 会長から思いがけず感謝状が授与されました。この感謝状は、かつてNHKで働き退職した人がNHK時代の知見を生かしながら、その地域で一定の社会的貢献を果たしたと認められる場合に会長が贈ることになっています。今回の感謝状は、日韓市民ネットワーク・なごや が日韓市民の交流と相互理解の促進を掲げて、長い間、着実な活動を行ってきたことを評価し、その一角を

荷ってきた事務局に対し、橋本会長が激励の意志表示として、授与されたもののようです。

NHKの内部規定による感謝状なので、たまたま対象者が私、後藤個人となりましたが、会の活動を全員が支えあって行っている以上、感謝状の受け手は会の全員だと考えられます。8年間もの歳月を共に歩んでいただいた方々無くして今日の会は、ありえないからです。公的な放送機関であるNHKから一定の評価と激励を受けた重みを噛みしめつつ、私たちは、さらなる日韓交流に踏み出したいものです。



このページは、新聞や雑誌あるいはホームページなど、当会に関係があるニュースを掲載しています。皆さんが、お気づきになったニュースがあればお知らせください。

### ◎ 故水崎林太郎翁の追慕祭～韓国・大邱市寿城池で～

4月10日（日）の朝、大邱市寿城池のほとりて昭和の初期にこの池を造り大邱農民の恩人とたたえられた故水崎林太郎翁の追慕祭が、地元関係者の他、在釜山日本総領事館の民辻秀逸総領事や丸尾克昌領事、そして日本に住む遺族などが出席して開かれました。この水崎林太郎翁は、元々は岐阜県に加納町長（今の岐阜市長にあたる）だった人物で大正期に大邱に移民としてやって来ました。彼は大邱で恒常的な水不足に嘆く農民たちの嘆きを聞き、彼らのために命がけで朝鮮総督府と掛け合うこととなります。その結果、昭和8年に10年がかりの大工事が完成、寿城池の豊かな水で250万坪以上の新田が拓かれ、水崎翁は”大邱農民の恩人”とうたわれたのです。

1939年（昭和14年）に亡くなった水崎翁は思い出深い寿城池のほとりに葬られましたが、家族が日本に引き揚げた後も親交のあった徐一族（現在は徐彰教さん—韓日親善交流会長）の手で守り続けられ、折にふれ、追慕祭が開かれてきました。

今回の追慕祭に日本から参加したのは水崎翁の子孫たち8人（代表水崎元宏さんは会員です）と長良川ロータリーの元会長の長柄良雄さん、それに事務局の後藤を加え10人でした。式典では、寿城池に植えられた桜の花が散る中で、韓国人の僧侶が読経をあげたのち、参加者

が白菊を手向けて水崎翁の遺徳を偲びました。

最後に民辻総領事が「水崎翁が貯水池をつくる一方、地元の皆さんが、その事実を心にとどめ、翁のお墓を守ってこられたことは、日韓市民の心の交流のすばらしい事例です。私たちもこうした交流に学びつつ両国の親善や相互理解に努力したいと思います」と追慕祭をしめくられました。式典終了後、地元の人々と岐阜から来た遺族たちが和やかに交流していましたが、わずか1歳4ヵ月の陽平君（林太郎翁の玄孫—やしゃご）の周辺には笑い声が絶えませんでした。



## ◎ 会の石原顧問がドーム取締役役に！

中日新聞の万博プロジェクト室次長（元ソウル支局長）で私たちの会の顧問を永年勤めていただいている、石原俊洋さんが3月31日付けで、株式会社ナゴヤ・ドームのイベントなどを担当する取締役役に就任されました。会員一同で心か

ら、お祝いしたいと思います。それにしても、石原さんが今後ナゴヤ・ドームで中日—巨人戦を観戦するとき例えば、川上と伊・スノブの対決となったら、いったい、どちらを応援されるのでしょうか？ちょっと興味がありますね。

## ◎ 賑わったうるし21世紀展

会員で盛岡に在住の漆・らでん工芸作家の全龍福（チョン・ヨンボク）さんが、名古屋、栄の三越百貨店で開いた作品展（3月21日～26日）が盛況のうちに無事、終了しました。今回のうるし21世紀展は、栄・三越の7Fの広さ100坪の催事場を使い、巨大なタンスや屏風、多彩なパネルなど力のこもった作品群を展示したもので、連日、うるしの美を鑑賞しようとする人の群れでにぎわいました。全龍福さんは「名古屋店の成功に力を得て、今後は東京、福岡など全国で作品展を開きます！」と話しておられました。



## ◎ 豊山ハングル教室スタート！

会員有志が仲間を募って立ち上げたハングル自主教室が4月9日（日）、イチローの故郷 豊山町でうぶ声を上げました。世話役は豊山町に住んでいる会員の市川延江さん、講師は、これまた会員でかつての留学生会長のイ・スンフン君で、生徒は市川さん平松さん、岩下さんの3

会員を含む女性ばかり14人です。メンバーは以後、毎月2回勉強することになっていますが初回から早くも「スンフン講師の先導でソウルに遊びに行こう！」との声で盛り上がっていました。

# ◇ 会の活動報告とお知らせ

## 1. 報告

### 1) 総会

2006年度の総会を3月26日（日）に行いました。当日の決定内容を下記に報告しておきます。いずれの項目も出席者33名全員の賛同を得ています。



# 1 2006 年度 組織表

顧問団	代表顧問	石原俊洋	交流リーダー	徐彰教	大邱	韓日親善交流会長
	顧問	尹大辰		二日市壮	ソウル	KBS 国際放送キャスター
	顧問	李尚勲		柳美枝	大田	韓南大学講師
幹事団	統括幹事	後藤和晃		武井一	東京	教員・韓国全般
	幹事	中川修介		宮崎淳次郎	名古屋	仏像仏教建築
	幹事	宮本昌子		宮本昌子	名古屋	日本語教育
	幹事	宮崎淳次郎		加藤恵志	名古屋	韓国旅行
	幹事	野村哲		加藤勝	名古屋	子供囲碁交流
事務局	事務局長	後藤和晃		伊藤義郎	津島	古代歴史紀行
	事務局次長	中川修介		土岐良文	名古屋	古代歴史紀行
	事務局次長	東道生		三尾和廣	土岐	森で遊ぶ実践
	企画主幹	宮崎淳次郎		土本美恵子		
	広報主幹	鈴木一宇		成瀬一男	岡崎	岡崎紹介
	事業主幹	加藤恵志		早川潤	知立	わいわいクラブ
	会計主幹	伊藤みつ子		後藤和晃	江南	交流アドバイザ
	事務局(広報)	早川潤	田口良浩	名古屋	ハイキング	
	事務局	イ・スンフン	グセわろやき	増田一夫	堀芳樹	
	事務局	武田章敬		山田あき子	市川延江	
		鈴木奈津子		山田雅樹		
監査	会計監査	成瀬一男		イ・ジョンベ		

# 2 2006 年度計画

月	日	曜日	行事 (※印は他団体が主催し当会は協力関係)	備考
4	9	日	豊山町 ハングル教室オープン (今後は毎月第二・第四日曜日開催)	世話役 市川延江氏 講師 イ・スンフン氏
	9-11	日-火	韓国大邱市での故水崎翁追慕祭に参加	10人前後 釜山の総領事も
	15	土	会報 33 号発行	担当、早川 6~7人
	未定		シニア望郷野遊会	5月に実施も
5	未定		留学生歓迎 ハンゲンマルしゃべらナイト	名古屋市内
6	24	土	会報 34 号発行	担当、早川 6~7人
7	5	水	※ 韓日歴史・文化フォーラム “古墳に見る古代の日韓交流”	南山大伊藤秋男教授
8	3-7	木-月	光州学生交流団受け入れ 3日~4日、奈良旅行 4・5・6日の三日間ホームステイ	日程交渉中
9	26-10/1	火-日	“高句麗・旧満州国” 歴史紀行 ~ 大連・長春・瀋陽・通化 ~	これまでで最長の5泊6日 日程は検討中のもの
10	14-15	土-日	留学生の裏木曾キャンプ ~ 中津川市 ~	主催三尾夫妻
	未定		会報 35 号発行	担当、早川 6~7人
11	12	日	豊山教室・交流会 仮題 ハングルで歌わナイト	豊山教室で実施検討

12	23	土	留学生を励ます “日韓市民”交流の夕べ	韓国学校教室
1	未定		会報 36 号発行	担当、早川 6～7 人
2	未定		留学生送別会	
3	21	水	第 10 回総会	韓国学校

### 3 2005 年度実績

月	日	曜日	行 事 (※印は他団体が主催したもの)	人数	備考
4	1	金	メールマガジン 「東海地方日韓ニュース」配信開始		担当、東
	7	木	※第二回 韓日歴史・文化フォーラム		
	30	土	会報 29 号発行	7 人	担当、早川・宮崎
5	11	水	※ 万博・韓国ナショナルデー	15 人	招待ほか
	14	土	留学生に奈良旅行プレゼント	20 人	宮崎ほか
	18	水	豊山町・韓国理解講座 (1) ～ 古代の日韓交流 ～	11 人	後藤
6	2	木	江南市宮田中の総合学習に協力 ～ 日韓市民交流を進める理由 ～	13 人	後藤
	8	水	豊山町・韓国理解講座 (2) ～ ダイナミック韓国・いま経済は ～	18 人	顧問李尚勲
	20	月	韓国・大田中 26 回生同窓会	20 人	事務局 大久保舜司
7	2～3	土～日	留学生会の溪流キャンプ支援	17 人	リーダー イ・スンフン氏
	13	水	豊山町・韓国理解講座 (3) ～ 韓国映画の魅力と秘密 ～	16 人	李相美氏
	27	水	※ 第三回 韓日歴史・文化フォーラム 講演 会員全龍福氏	100 人	
8	5	金	豊山町・韓国理解講座 (4) ～ 食の国・韓国 ～	11 人	柳舟葉氏
	6	土	会報 30 号発行		担当、早川
9	10～11	土～日	留学生の裏木曾キャンプ ～ 中津川市 ～	15 人	主催三尾夫妻
	14	水	豊山町・韓国理解講座 (5) ～ 韓国の若者たちはいま ～	16 人	イ・スンフン
10	14～17	金～月	韓の国“仏が来た道”紀行 ～ 百済仏教の聖地巡礼 ～	20 人	後藤・宮崎・武井
	16	日	※ 国際交流フェスティバル ～ 会の活動内容を展示 ～	180 人	鈴木・加藤・東
11	3	木	シニア望郷野遊会 ～ 犬山市・八曾休養林 ～	17 人	後藤・大久保・宮崎
	19	土	会報 31 号発行	6 人	担当、早川
12	18	日	留学生を励ます “日韓市民”交流の夕べ	71 人	※留学生 21 人
2	18	土	会報 32 号発行	6 人	担当、早川
	23～28	木～火	光州への日韓学生交流の旅 V	4 人	後藤・鈴木
3	11～12	土～日	金沢“歴史探訪”紀行 ～ 侍になった金如鉄と尹奉吉義士 ～	17 人	後藤
	26	日	第 9 回総会 ※ 金容雲氏講演		

## 4 会員アンケート

以下は3月26日の総会の場で出席された会員にお願いしたアンケートの一部です。  
ホームステイへの協力が可能な方や秋の高句麗・旧満州紀行に参加したい方は、ご自分の名前を明記し、ハガキまたは FAX で事務局 後藤（〒483-8037 江南市勝佐町東郷 238 TEL、FAX 0587-56-6788）までご連絡下さい。

### (A) ホームステイのホストを募ります

今年度の8月初旬に長い間、交流を続けている韓国の光州市から学生交流団が名古屋に来ます。8月4日（金）から3泊ホームステイを引き受けることとなりますが、ぜひホストになっていただくようお願いいたします。

①受け入れる

②受け入れを検討する

①と②の方にお聞きします。受け入れる学生について、希望がありますか？

（性別・人数・言語能力など）

### (B) 高句麗・旧満州国紀行参加者募集

会では、9月末から10月初めにかけて、懸案だった高句麗と旧満州国の歴史探訪のため、中国東北部を旅行します。韓国からも参加者がある見込みです。

行き先は大連、瀋陽、長春、通化などで、古代高句麗の遺跡（倭軍を撃退した好太王の巨大な石碑や壁画古墳、高句麗山城など）を巡る一方、日本近代史上の痛々しい傷跡を旅順の二〇三高地（日露戦跡）や長春（旧新京）、瀋陽（旧奉天）など旧満州国の主要都市に訪ねます。

そこでは、101年前の日露の激戦地がそのまま残されていたり、旧満州国の残影がありありとしのばれるなど、皆さんは深い感慨に浸ることになるでしょう。

今回の歴史紀行は舞台が中国国内で広範囲にわたるため日程もこれまでよりも長く5泊6日とします。旅費も韓国に比べ割高な中国とあって、15万5千円位はかかるものと試算しています。しかし今回の旅行に参加した人たちは中国東北部から韓半島、そして日本弧状列島にかけての空間で、この2000年の間、いかに壮大な規模で人や文化そして野望が往来してきたかを肌で実感することができるでしょう。

なおこの旅行団は幸運に恵まれれば、瀋陽で日本総領事として2月以来活躍中の阿部総領事（2月まで在釜山日本総領事館におられた総領事です）と、食事を共にすることができるかもしれせん。

→この旅行への質問です。

①旅行に参加する …次項目へ

②参加を検討する …次項目へ

①・②の方のうち、「高くても1人部屋が欲しい」などご希望がある人はお書きください。

## 2) "日韓学生" 交流の旅Ⅴ 実施報告

私たちの会では 2000 年いらい日韓双方の大学生たちが「交流の歴史を確かめ新しい絆を結ぶ」ことを目的として"日韓学生"交流の旅を実施してきました。5 回目となる今回の交流の旅は、去年(2005) 12 月に行った「留学生を励ます交流の夕べ」への寄付金のおかげで(4 名という少人数ではありませんでしたが) 光州への派遣を実現することができたものです。

### 「学生交流」紀行 ————— 参加者の感想文

#### 日韓学生交流の旅 旅程表

2/23 (木)	セントレア空港 □ 仁川国際空港 ~ 天安・独立記念館(※日本の朝鮮併合の歴史を学ぶ) ~ 公州(※百済との交流史) ~ 扶余 宿泊: 三井扶余ユース(扶余邑旧校里 105-1) TEL 041-835-3101
2/24 (金)	扶蘇山城跡 ~ 国立扶余博物館 ~ 定林寺址 等(※古代百済と大和王朝の交流を学ぶ) ~ 光州(YMCA) ~ ~ ホストと合流 ホスト宅へ 宿泊: 各ホームステイ宅
2/25 (土)	“日韓学生”交流の日 ①(※1600年前の交流と文禄の役をホストと学ぶ) 出発 ~ 金海(王陵・大成洞古墳・博物館) ~ 晋州(文禄の役…晋州城遺跡) ~ 光州YMCA 宿泊: 各ホームステイ宅
2/26 (日)	“日韓学生”交流の日 ② ホストらと自由行動 宿泊: 各ホームステイ宅
2/27 (月)	光州駅より KTX 240 号(9:35/12:23) にてソウルへ “日韓学生”交流の日 ③ 景福宮…民俗博物館(ソウルの学生と見学後、懇親会) 宿泊: サマーセット・パレス(鍾路区寿松洞 85) TEL 02-6730-8888
2/28 (火)	曹溪寺…国立中央博物館…清溪川散策など ~ 仁川国際空港 □ セントレア空港

### ◎ 交流の旅を終えて ————— 会員: 鈴木奈津子

映画や k-pops をきっかけに韓国に興味を持ち、その延長で日韓市民ネットワークの会員となりましたが、今回、交流の旅に参加する機会に恵まれ、今まで自分がどれほど歴史を知らずに過ごしてきたのか、ということを感じました。

直前に本で詰め込んだにわか知識で、何とか後藤さんの説明にも付いていけましたが、本で読むよりも現地を訪れ、レプリカとはいえ遺物を実際に見て、歩いて、肌で歴史を感じる事ができました。当時の技術の高さにも驚きます。公州の武寧王陵で見た装飾品の美しさ、レンガにまでこだわった墓の内部など私には驚きの連続でした。

光州でのホームステイも貴重な体験でした。私のホストはYMCAで青少年委員会の委員をしているキム・オッキョンさんです。彼女は二人の小学生の母親でもあり、韓国の一般の家庭生活を体験させてもらいました。日本語を話せないオッキョンさんとの会話は私の拙い韓国語だけ。彼女の話す韓国語の音は自分の頭の中でハングルに変換できるのですが、その音がどんな単語だったのか、思い出そうとすると返ってパニックになってしまい、勉強を続けていなかったことを悔やみました。光州の学生3人はみんな元気一杯で、我々日本人が車中でぐったり

している中、疲れ知らず。一緒に行動していて、彼らは英語や韓日辞書を使って一生懸命私たちに説明してくれました。その気持ち、態度に胸が熱くなりました。また、車中で話題になったのは、韓国の中高生が大学に入るために毎日みっちり勉強しているということ。ニュースで報道されていましたが、日本では考えられない程大学入試に打ち込む様子を聞き、驚きました。オッキョンさん宅では小学生の娘さんの部屋を借りたのですが、本棚にマンガではなく活字の本(子供向け)がびっしり並んでいたこと、連れて行ってもらった健康センターで話した小学生はたまたまソウルから来ており、英語はもちろん最近中国語の勉強も始めた聞き、教育環境も驚きました。残念ながら私は今の日本の教育環境がいまいちわからないので比較できませんが…。

今まで、パックスツアーで3度訪れたソウルでしたが、恥ずかしながら景福宮等、史跡を訪れるのは初めてでした。近代、日帝時代に起こったことは初めて聞くことばかりでした。多くの日本人を見かけましたが、どれだけの人がその歴史を知っているのでしょうか。知らずに行くことと知っていて行くのでは、目に入るもの見え方が違うんだ、と感じました。

今回の交流の旅は古代の交流の歴史を知り、韓国の人々や生活の交流もあり、世代の交流もできました。普通のツアーでは有り得ない行程で、遺跡は登山並み。普段、運動と縁のない私には後藤さんの足の速さに付いて行くのがやっとでした。車での移動が大半を占め、ふと窓の外を見ると山には盛り上がった土、お墓をいたる所で見かけました。顔もよく似ていて、街中の様子もハングルと漢字の違いだけで日本にいるのと変わらない部分もあり、ちょっとしたところに違いを見つけてそのギャップにますます興味が深まりました。韓国で迎えてくれた人々の情熱を強く感じました。これから、光州から

の学生や他の留学生に私が受けた気持ちのお礼代わりに恩返ししていきたいと思います。



## ◎ 韓国

会員：後藤恵太



始めていく国、知らない言語、テレビでしか見たことがない風景、文化。海外旅行自体小学生の時から行っていなかった僕にとって、今回の旅行はドキドキしっぱなしの旅だった。初日、二日目とガイドさんは日本語だったので大抵の会話は日本語で成立。僕が多言語で会話する機会は皆無だった。ただ、二日目の夜ホスト宅に招かれるとやはり会話しないとどうしようもない。ハングルがさっぱりわからない僕にとって、唯一の頼みの綱は英語。すべて英語での会話。異文化コミュニケーションとはこれほどまでに難しいことだったのかと改めて知ることになる。ホスト宅にインターネット辞書があったことが救いにもなった。パソコンがワールド

スタンダードな物として機能することでコミュニケーションも楽になる時代が来たものだ。

韓国と日本の今の関係は決して良いとはいえないと思う。政治を見ると解決の糸口すら見えない。昔はどうだったか。歴史の授業を聞く限り明治以前はある程度の交流があった程度の認識で今回、韓半島と日本の交流を示す場所を回ってみると、自分の歴史認識の甘さに愕然とした。日本がどれだけ韓半島の王朝から文化を取り入れ、交流を持ったかが如実に現れていた。縄文人は日本古来からいた人間で弥生人は半島ハーフの人間というのはよく聞く話だが、それも当然だと思うほど文化が時代の流れにつれて似通い始めている。日本という島国と韓半島という大陸の半島を人が行き来していた歴史に感動した。いつか日本と韓国が昔のようない関係を気づければアジアももっと活気付くと僕は思う。

文化交流の面ではもちろんホスト宅のごはんがおいしかったが、だんだんキムチノイローゼ気味になってしまった。辛いものがあまり食べられないので韓国の料理に少なからず抵抗があったが、気を使っただいてあまり辛いものを食べずに済んだが申し訳ない気持ちでいっぱいだった。

[郷に入れば郷に従え]とは言うものの異文化圏ではなかなか実行できないもので、食文化だけでなく、最後の夜一緒に寝ようと言われた事にも驚いた。特になんとも思わず了承し共に寝ることになったが、一緒に寝たもののほとんど寝られず干すと炊く最後の夜を終える破目になってしまったがこれもいい経験だったと思う。日本の家庭と韓国の家庭の違いを肌で感じることの出来た三日間だった。

五日目、地元の大学生との交流。日本語を話していただいているにもかかわらず、英語で喋



ってしまう癖が抜けず日本語、英語が混ざる変な言葉でしゃべっていた。人間追い込まれると何でもできるのは本当のことだ。この日は個人的に韓国語を話せないことがとても申し訳ない一日だったと思う。相手が日本語であわせてくれることは嬉しいけれど任せっぱなしで、お金もほとんど出していただいて……。そういったもてなしの心遣いはどうしても慣れることが出来ない。

最初は嫌々この旅行に参加したものの結局のところ、とても楽しく有意義な旅行だったと思う。ホームステイで英語をしゃべろうと努力したことで英語に対する嫌悪感がなくなったこと。英語が世界の共通語として話される今、日本人対韓国人でも英語があればコミュニケーションが取れる。漠然とやってきた英語の共通語としての存在の重さを実感した。

韓国人の見る日本、日本人の見る韓国、韓半島の違い。日本人のほとんどが朝鮮半島と呼ぶ場所を韓国人は韓半島と呼んでいる。北朝鮮は北韓国だし、ドクトもその一例と言ったところか。それ自体は日本をアメリカ人がジャパンと言うのと大差ないような気もするが韓国の人々は北といつか合併することを祈って北韓国と呼んでいると聞いた。元は同じ民族がバラバラの国を作っているという事実を目の当たりにする。民族対立の虚しさ、辛さを少しだけ理解することが出来たように思う。

## ◎ 韓国訪問

韓国でホームステイをして感じたことは、とても親切な人たちと感じました。朝食の時には、日本人の味覚を考慮して、辛いものを避けて作ってもらい、一緒に遊びに行ったときには、お金を全額出してくれました。ホームステイ2日目の夜には、映画を観に行きました。今まだ韓国映画を観たことが無く、興味がありました。今回観た映画は、「Kingsman」というもので、中世の韓国を描いたもので、そのとき一番人気だった映画です。自分は、韓国語が分からず、何を言ってるのかかわからなかつたんですが、映像でだいたいの話の筋を理解していました。日本ではなかなか観ることが出来ないストーリーでした。

ホームステイ先では、地元のサッカーチームとゲームをしました。韓国のサッカーは、攻撃に重点を置いているので、そのプレイスタイルには驚きました。一緒にプレーしたチームメートはみんな親切にしてくれてとてもうれしかったです。

韓国では、日本のアニメがはやっていて色々なアニメの話もしました。特に話が盛り上がった

僕にこういう機会を与えてくださったみなさん、韓国でお世話になった方々に感謝を申し上げます。こういった社会勉強の一環として旅行し、得たことはこれから先活かしていくとして、無理矢理にでも送り出された結果が自分にとって大きな利益をもたらした事は間違いありません。昨今韓国とは大きな隔たりがあり、そういった理由からか若者にも韓国嫌いが浸透しています。そういった人たちにも一度韓国に行ってその本質を捉えて欲しい。現地に赴くことで自分の世界は広がり、考え方や感じ方がどんどん変ることでしょう。僕自身が日本に帰ってきて必死に英語の勉強を始めたように……。自分の至らなさや、日韓または日本対外国の関係に必要なものが見える。今回の旅行、韓国旅行はそんなことを気づかせてくれた旅行だった。



会員： 加古 維広

たのは、「鋼の錬金術師」というもので、アニメの話で盛り上がった子は、日本には売っていないアニメのグッズを持って行って驚きました。

ホームステイの家族とのコミュニケーションには、インターネットを使った通訳ソフトを使ったり、日本語の文章例が書いてある韓国の辞書と、韓国語が入った電子辞書を駆使して会話をしました。しかし、それらを使ってもなかなかコミュニケーションが取れず、言葉の壁が大きいと感じました。その壁をこえる為に語学の勉強をしていこうと思います。



## 2.お知らせ

### 1) 2006 年度会費納入のお願い

毎年、3月から4月にかけて年会費の納入をお願いしています。すでに多くの方々から納入いただいておりますが、一部に失念されている方もいます。会費の納入が確認されていない方には会報33号とともに振り替え用紙を同封しますので、郵便局から4月末までに会費を送っていただくようお願いします。

### 2) 新会員紹介

前回の会報編集以降に入会された方で、4月7日までに受付完了されている方々です。(敬称略)

橋本公子	大橋幹夫	加古維広
小野賀男	後藤恵太	

## 「金沢歴史」紀行 —— 参加者の感想文

### 金沢歴史紀行 行程表 (2006.3.11~12)

3月11日(土)

7:45 名古屋栄・トヨタレンタリース集合

8:00 出発—(東海北陸自動車道・一宮・郡上・福光—北陸自動車道)—

小矢部SAで各自昼食—金沢市広小路周辺で金岡氏を乗せる—野田山墓地到着

野田山墓地

14:00 尹奉吉義士・供養祭及び遺骨発掘・送還の説明  
保存会 伊藤会長、朴仁祚氏

15:00 前田利家、妻まつなど前田一族の墓  
及び陸軍墓地(日露戦争の記憶・ロシア人捕虜の墓など)

野田山墓地—金沢駅前 アパホテル到着 タクシー分乗 浅野川沿い魚常に集合・夕食

3月12日(日)

8:30 ホテル発—兼六園駐車場—以後徒歩—玉泉園 “旧脇田家庭園”

—金沢城“石川門・五十間長屋等”—兼六園“海石塔”など—兼六亭で昼食

—県立美術館—美術館前よりマイクロバスで帰途へ—北陸道経由—名古屋着解散

### ◎ 義士 尹奉吉(ユン・ボンギル)さんを知っていますか — 会員: 牧野 司

私は知りませんでした。韓国の人達にとって、大切な大切な人なんです。私は知りました。金沢一泊研修に参加して知りました。後藤和晃さんの案内でした。義士尹奉吉さんの供養祭りに参加したから知ったのです。

今も尹奉吉さんのお墓を守っていらっしゃる朴仁祚(パク・インジョ)さんの熱心なお話でしりました。今その感動をお知らせします。

#### 1 ことは

昭和7年(1932)4月29日(天長節)のこと。上海の公園では天長節と戦勝を祝っていました。そこに尹奉吉さんがひそかに舞台に近寄って、隠し持った爆弾を投げたのです。結果は、壇上の軍首脳や外交官を何人か死傷させることに成功したのです。(後に、このことがきっかけとなって日本から独立することになるのです。)

しかし、ただちに逮捕され、軍事裁判で死刑を宣告されました。その年の12月19日、金沢市郊外で処刑されたのです。そして、こともあろうに野田山墓地に、何の目印も付けられずに埋葬された

のです。

## 2 テロか戦闘行為か

当時、日本が無理やり併合して植民地として韓国を支配していました。ですから、この頃の韓国の指導者達は、上海に大韓民国臨時政府を打ち立てて、日本に対して宣戦布告をしていました。

ですから、尹奉吉さんの行為はテロではなく戦闘行為ということになるのではないのでしょうか。つまり、尹奉吉さんはテロリストではなく、民族独立の戦士ということになるのです。尹奉吉さんの25歳の時のことです。

## 3 暗葬地の発見

太平洋戦争が終わって、このことを知った朴仁祚さんは、在日の何人かの人達と埋葬地を探し始めました。悪戦苦闘の末、ついに昭和21年(1946)暗葬の地を発見しました。同年3月3日のことです。奇しくも尹奉吉さんが23歳で満州に亡命した日と同じ日です。発見まで実に13年もの間、野田山の墓参者の歩く道路下の地中深くにあったのです。

## 4 殉国碑

暗葬地の発見者の朴仁祚さんは、この暗葬地を英雄の遺跡地として永久保存することを決意されたのです。大変な苦勞を重ね実弟の尹南儀さんにも連絡されました。尹南儀さんは「韓国から提供する殉国碑一式を暗葬跡地周辺の高台に建立」の要望をされました。しかし、朴仁祚さんは飽くまでも史跡である暗葬地に固執されました。そこで、この地の南200mの高台に祖国に向けて建立されました。時に平成4年(1992)4月21日のことです。義士殉国60周年のことです。

## 5 朴仁祚さんは今も

平成4年(1992)3月19日、朴仁祚さんは念願の「尹奉吉義士暗葬の地」碑を祖国に向けて建立しました。そしてお墓も建立して、今も守っておられます。たいへん立派な方でした。



## 6 収穫のあった歴史の旅

平成18年(2006)3月11日(土)～12日(日)の研修会はじつに実のある会でした。後藤さんのおかげです。後藤さん、ありがとうございました。いい勉強をさせていただきました。

## ◎ 金沢歴史紀行に参加して

会員：太田道子



旅行には初参加でしたが、大変中味の濃い有意義な旅でした。お世話になった皆様、ありがとうございました。

尹奉吉の名を知ったのはいつのことだろう。

彼が爆弾を投げこんだ天長節祝賀会場の写真を見たとき、壇上の手すりに巻かれた紅白の布を、立ち並んだ軍人の姿が遠い記憶の底から目の奥に蘇った。そして降伏文書調印のために米軍艦ミズーリ号の甲板に、尹奉吉の爆弾で傷ついた足を引きずって現れた重光外相の姿も。

金沢市郊外の野田山墓地には、日露戦争で死んだ兵士たちの細い棒杭のような墓標が、夥しく立ち並び哀れさをさそう。

尹奉吉の遺体にはその斜面を下りた一角に人知れず埋められていた。人に踏まれ、ゴミ捨て場になり13年が過ぎたが、ついに発見され発掘された。

遺骨は韓国に帰ったが、発掘の跡地は今、暗葬の地として整備保存されている。発掘当時から現在に至るまで、日韓両国の間をつなぎ尹奉吉の事跡を広め伝えるために献身的に働いて来られた朴仁祚氏が、私たちを案内してくださっ

た。79歳の朴氏の情熱と活動には圧倒されるばかりで、尹奉吉の魂が今も脈々と伝わって来るように感じた。

金如鉄については、この旅行で初めて知った。

戦争孤児、如鉄が前田家で成長し、1500石どりの脇田直賢という武将になる。兼六園のすぐ横に彼が造園したという旧脇田家庭園があった。さほど広くはないが傾斜を利用して作った独特の風趣がある。そこにひとときわ堂々とそびえ立つ330年余りを経た朝鮮松の木、あまたの石造物など。やはり故郷は忘れられなかったのだろう。

如鉄を育てた前田家の女性たちは、彼の出自に関係なく惜しみなく愛情を注ぎ、また彼もその愛に応えて力いっぱい生きていたのではないかと。前田家の気風はその墓所にも偲ばれた。

脇田和画伯が如鉄の子孫だと聞いてアツと思った。あの軟らかい色と形の中に如鉄に通じる何かがありはしないかと、急に如鉄が身近に感じられた。

古九谷は謎の多い焼き物である。

初めて見た時、そのどぎつい色と奔放な図柄に、日本人離れした異様な感じを受けた。何度か見るうちに生命力溢れる力強さが魅力となって、頭の中に染みついて離れない。

現在の九谷焼とは断絶があって、本当のところはどこで誰が作ったか確認がなかった。最近、有田で作られたとの研究発表を見た。

古い朝鮮磁器といえば、ほとんど青磁と白磁だが……。古九谷は果たして有田の朝鮮陶工が作ったか？

こんなことを考えているより、古九谷の作品にみなぎる天衣無縫の美を十分に鑑賞するのが最高というべきか。

## ◎ 金沢歴史紀行に参加して

会員：安田 守



3月11日、12日に17人のメンバーで金沢を訪ねた。金沢の町は何十年振りだったろうか。

私の記憶の中に有る街の姿は今では殆んど見当たらなかった。今回の訪問では、4年前に復元されたという金沢城や旧脇田家庭園、県立美術館、兼六園などでも何がしかの感銘を受けた。しかし、何といても野田山の墓地で、尹奉吉の暗葬の地と記念碑を前にして見聞した事には強烈なショックを受けた。



敗戦の時、アメリカ艦船ミズーリ号の甲板上で、時の重光葵外務大臣が杖を突いて立っている写真を見た時は全く気にも留めていなかったが、それが昭和7年の天長節の日に尹奉吉の爆弾によって負傷した姿であったとはどれだけの人が知っていただろうか。頂いた昭和57年の資料には、尹奉吉義士暗葬之跡保存会会長である“いとう正敏”さんですら「つい最近まで知らなかった」と書いておられるのだから私なんかを知る由も無いが。

この会にいらしてもらって韓国・朝鮮と日本との関係が勉強出来、少しずつ理解が進むのに従い、仏教の伝来を中心として色々な面で朝鮮から多くの事を学んで現在の日本文化が形成されてきたことが再確認できた。にもかかわらず、文禄慶長の役をはじめとして、明治時代以降昭和20年まで、朝鮮・韓国の弱点を突いて朝鮮王朝の血筋を絶ち、朝鮮半島を日本の植民地としようとした日本の指導者たちは、韓国・朝鮮に対して恩を仇で返す様な事をしたのでは無かったのか。これに対して安重根や尹奉吉また当時中学生だった柳寛順で象徴される様な、命を張って抵抗した人達に対する日本の仕打ちを知る

につけて、大変心の痛む、恥ずかしい思いをした。

私が10年ほど前に、韓国公州にある田舎のお寺で余生を送っていた元日本軍慰安婦のハルモニ達に会った時、彼女から聞いた“一般の日本人には何の恨みも無いが、日本政府に対してはそうではない”の言葉が長く心から離れなかったが、昨年済州島の抗日記念館でツアーガイドに日本に対する思いを聞いた時も、“今の日本人は韓国・朝鮮に対して当時何をして来たのか全く知らないし、知ろうともしない”と言われたことが心に残っている。そして奇しくも今年に入って中国のトップの人が10年前に会ったハルモニと同じ様な事を言っていたのをラジオで聞いて、近隣の国の殆どの人達は以前から同じような思いで日本を見ているのではなかろうか…と思った。

当時は“大東亜共栄圏”を作るとかいう錦の御旗を立てて近隣諸国に多大の迷惑を与えてきたが、今でも規模は小さく実害こそ与えていないとはいえ、“不戦の誓い”とかいう御旗を立てて隣国の心の痛みに塩を塗り、顧みないような態度をとっているのではないだろうか…。こんなところまで思いを馳せた旅だった。

もう一つこの旅の印象として付け加えておきたい事がある。11日の夕食は後藤さんが推奨される浅野川沿いの料亭「魚常」で摂る事になったが、その料理がとても美味しかった事である。それに加えて女将の一見淡々としている様にも感じられる客あしらいの中に、実はとても暖かく細やかな心遣いがひそんでおり、それが料理の味に花を添えているようで、後藤さんが惚れ込まれたのは宜もない事だと感心させられた。この様にいつも硬軟ともに満足させて貰える企画を作られる執行部の方々に感謝の意をささげたい。

## ◎ 日韓歴史の旅 金沢歴史紀行に参加して ————— 会員：小出宣昭



3月11日、早春の朝名古屋を出発して二時

間あまり、東海北陸道は雪景色であつた。我々を乗せたマイクロバスのハンドルを握っているのは吉川さん、長い間一緒に仕事をしてきた先輩である。今回は急な指名で、道中ご苦勞をお掛けしている。

このメンバーの中で最も若いのが、金鍾得（キム・ジョンドク）さん独立行政法人の特別研究員で金沢は初めてとのこと、ご夫妻で参加されている。金さんご夫妻を迎えた総勢十七名が「金沢歴史紀行」の顔ぶれで、バスの車内は比較的ゆったりしている。

銀世界が広がる ひるがの高原、白山の峰、御母衣ダムを車窓に眺め白川郷から福光まで一気に下り降りて、小矢部 JCT から北陸自動車道

に入り金沢市街へ向かった。

野田山墓地へ向かう途中お寺が山門を並べる寺町へ・・・その昔この地方で強大な勢力だった一向宗徒を警戒して一向宗（浄土真宗）の寺を取り囲むように多くの寺が政治的に作られ、今では京都の街に似たたたずまいを持っている。

バス前方の歩道を一人のご夫人が歩いていた。「金岡さん」と後藤さんが声を掛け、京都から別ルートで着いた金岡さんが合流した。



やがてバスは金沢市の南部にある小高い丘の野田山墓地へ到着した。昨日まで薄っすらと雪に覆われていたのか所々に雪が残っている。

野田山墓地は頂上付近に加賀藩初代藩主 前田利家から十四代までの歴代藩主が眠り、そこから下の方に家臣の墓が作られ、近年になって旧陸軍戦没者の墓地や忠霊塔などが作られ今では市民の墓地が丘陵一帯に広がり、墓地園として整備されているようだ。

旧陸軍戦没者墓地に通じる道に「尹 義士暗葬碑 遺詩碑」と書かれた矢印案内板が立てられていた。案内板の先、奥まった場所が暗葬跡で周りを生垣で囲った敷地の中に高さ1・5メ



ートル程の丸三角形をした石碑が建立されている。

既に関係者の方々が集まっていて法要の準備中であつた。法要が始まる時間までいましばらくあり、我々はその間に上の旧陸軍戦没者墓地をお参りすることになった。金沢師団に関連する戦没者の墓地や忠霊塔などが整然と祭られている。この場所に通じる道に処刑された尹奉吉（ユン・ボンギル）義士が暗葬されていたのだ。義士尹奉吉の法要は保存会会長の元参議院議員で真宗大谷派正光寺住職 いとう正敏さん、副会長の朴仁祚（パク・インジョ）さん、関係者の方々と我々一同が列席して始まった。いとう住職の読経の中一人一人が順次お参りさせて頂きましたが、その間ずっと日韓の歴史が重い枷となって身体にのしかかっているような重苦しさを感じていた。

法要が終わった後、保存会副会長の朴奉吉さん七十九歳から大変詳しいお話を伺った。陸軍作業場で処刑された尹奉吉（ユン・ボンギル）義士の遺体は、墓標も立てられずこの参道の下に密やかに暗葬されたこと、戦後遺骨を発掘しようと暗葬場所を探したこと、この場所を保存するために奔走したこと、義士暗葬碑を作る土木工事も自ら行ってきたことなど思い出しながら一気に話をされた。

義士尹奉吉（ユン・ボンギル）は祖国の独立をめざして亡命していた上海で、昭和七年おりに開かれた天長節祝賀式典の会場で爆弾を投げて、日本軍司令官や外交官を死傷させた。韓国では平和を問う殉国の英雄として国民葬が営まれ、その後学校の教科書には英雄として紹介されている。

私はこうした日韓の歴史的事実を昨年の韓国訪問までまったく知らず、十三年間暗葬されたこの場所で法要に参列出来た事に深い感動を覚えている。

歴史的事実の重さを十分に感じた後、この野田山墓地山頂にある前田家墓地へバスで移動した。さすがに加賀百万石・前田家の墓地思っていたより規模も大きく立派な墓である。柵で囲まれた内には、百済古墳群で見られるような墓が作られ全国に殿様の墓は沢山あるけれど、これ程の墓は他に無いのではないかと。金沢には朝鮮半島から伝えられた多くの渡来系文化が生きていて、前田家の墓にもそれが見られた。



3月12日 昨夜から雨模様、兼六園近くの庭園美を訪ねた。小雨の中、入り口が開くのを待って訪れた旧脇田家の庭園、文禄・慶長の役に孤児となった少年金如鉄（キム・ヨチョル）を前田利家の娘豪姫の夫宇喜田秀家がソウルから連れ帰り、前田家に預けた。成人した金如鉄は二代藩主前田利長に使い脇田家に入り脇田直賢（わきたなおかた）となった。この直賢が中国庭園様式に従った庭作りを始め、四代脇田九兵衛まで掛かって完成した。この庭園が玉泉園で丘の斜面を利用した上下二段の回遊式で元々斜面に生えていた木々も庭木として使ったり池や泉の水を兼六園から引いている事など、歴代藩主の脇田家に対する厚い庇護が感じられた。

兼六園下から紺屋坂を上がるとすぐ前が金沢城石川門だ、この門をくぐって城内へ入る。平成十三年に復元された櫓や長屋を見るのが楽しみだ。三の丸広場に出ると手前に菱櫓が復元されており続いて五十間長屋が奥の方まで立派に再建されていた。中に入って驚いたのは伝統的なすばらしい木造工法だった。古くから伝わる木造軸組の工法は丈夫で見た目にも大変美しいといわれ、復元された建物も全て美しい城であった。普通りの出窓は床板を開けば真上から石垣を見下ろし三角窓の鉄砲狭間は内から外が良く見渡せる構造で、守りの城として作られたことも良く理解できる。

石川門を出て桂坂口から兼六園に入るとほどなく「ことじ灯籠」がある。灯籠の前は写真を撮ろうとする観光客で賑わっている。我々も修学旅行を思い出させてくれるようなガイドさんの説明を一所懸命聴いている。雨の兼六園をほぼ一周した瓢箪池の中島に六重の石塔があった。



その形から朝鮮半島から来たと思われる「海石塔」と名付けられた石塔はその独特な形から雨の風情をより演出しているように立っていた。

ガイドさんの店で濡れた体を乾かしながらしばし休憩。石川県立美術館へ移動したところから雨がやや強くなり温度も低いことで、雪の降る気配が出てきた。

金沢周辺は渡来系文化も含んだ美術工芸の盛んな所であり、さらに加賀藩以来の技術が伝統的に高い水準を保っている。県立美術館には古九谷焼き陶器の名品が多数展示されていた。前田家に伝わる文化財も展示があり、時間が有ればもっとゆっくり見たいものであった。放送局に在職中、放送や取材で金沢へは比較的多く来ており、金沢を見てきたと思っていたが今回の歴史紀行では今までとまったく別の面から金沢を見る事になった。





# 회원 마당

## 会員の広場

### ◎ 卒業報告

会員 宮本昌子

私がもう一度勉強したいと考えて大学の通信課程に入学したのは2000年の春でした。通信課程では送られてくるテキストを自習し、課題のレポート提出とテストに合格すると単位が取得できます。必修のスクーリングは夏休みに8日間通学します。東京でのホテル暮らしも体験でき、主婦の私にとって無理なく続けられそうでした。でも課題の図書はプラトン・ルソー・ウエーバー等読みにくい古典が主で、図書館で借りては又借り直す日々のくり返しでした。なんとか終えられたのは「ここで中止したら悔しい」という気持と気力でした。

専攻は史学科で戦時下の一般の人々のオーラルヒストリーを記録したいと考えていました。なかでも関心があったのは日本占領下の朝鮮半島で生活した人々の生の声でした。

卒論は「日本占領下の朝鮮半島での同化政策——日本語教育を通しての展開——」はじめに占領時代の総督の政策と教育政策の流れをまとめ、朝鮮語と日本語の扱い方が初期と後期で違う点や当時の新聞記事にみるハングル禁止の例を調べました。教育の実体では総督府

の教育機関誌から校長の指導方針を拾い、教師の手記を参考にまとめました。韓国を訪ねた折に知人に聞いたり、光州のコンナリさんに協力してもらって実際に日本語の授業を受けた当時の小・中学生の感想を集めました。会員の太田さんから友人を紹介していただき、北朝鮮側に住んでいた人からもアンケートに答えてもらいました。同化政策は皇民化強化にそって日本語使用も推し進められたのです。

朝鮮半島で生まれ育った会員の方々とは一緒に飲みに行って昔話を聞きました。亡くなられた中井さんはいつも懐かしそうに大田駅の様子を語ってくれました。卒論には今も残っている日本をいくつか取り上げてみました。大邱の寿城池・鎮海の桜・手話・花札・キムパップ。そして残った日本語。残った日本語を使って欲しいと願うのは日本人の発想でしょうか？その代わり日本人もハングルを学び交流に役立てたいという提案は受け入れられるのか確証はありません。パソコンを打ちながらもっと時間をかけてじっくり書いたほうがとか、参考文献が見つからなくて色々苦しみました。日韓市民ネットワークの皆さんの協力と励ましを受けてなんと



か2005年末に書き上げ面接試験の後卒業が決まりました。

韓国のことわざに「始めが半分だ」とありますが、慶応の通信教育は「終りが半分だ」卒業できるのは1割位です。入学は楽ですが、続けられない人も多いようです。

通信教育の授業料は初年度が10万円でテキスト配布後減額されます。経済的な負担は少なく、

学割ももらえました。美術館などでさっと学生証を見せ、得した気分になりました。ソウルの歴史博物館へ行った時、学生は半額とあったので学生証を出しました。係の人は一瞬ためらってそれでも笑顔で学生入場券を渡してくれました。よくみたら「学生(24歳以下)」と但し書きがあったのでした。入口は薄暗かったからでしょうか、それとも・・・

もう学割が使えないのが残念です。

서울 통신

韓国光明市在住 二日市 壮さんのソウル便りです。

韓国 在住生活を基盤として幅広くご活躍されておられるレポートです。

今後とも期待しております。

## ○ 統一地方選近づく

韓国光明市在住 会員 二日市 壮

### 国民の富持ち出す はげたかファンド

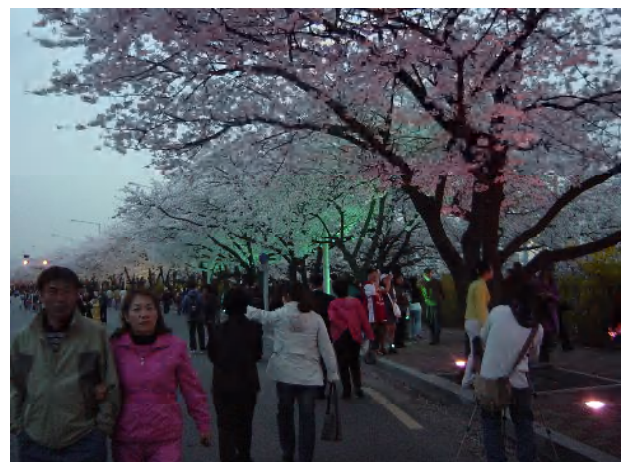
韓流ブームで増えていた日本から韓国への観光客が減る傾向にある。とくに今年1月は04年2月以来の最低だった。12月の寒さもあったが、韓国観光公社は「冬ソナ」以後にヨン様に代わるスーパースターが現れていないからだとして分析している。だが私は、最近のウォン高(4月に入って100円=800ウォン前後)や「マンガ嫌韓流」が影響していると思う。それに韓国に来たいと思っていた人は、あらかじめ来てしまったのかなとも考える。われわれ韓国ファンにとって、韓国は何度行ってもあきない所なのだが.....。

そういえば韓国とのFTA=自由貿易協定を結ぶ交渉も04年11月の第6回交渉以来、中断されたままになっている。日本はすでに韓国の工業製品に対して関税をほぼゼロにしているが、韓国は日本に対して平均8%の関税。これがゼロになると影響が大きいことが背景にある。しかし歴史認識、領土の問題が影を落としていることはいなめない。韓国も中国も小泉後を待っている状態だと思う。

先のWBCで韓国代表チームは、日本を2回も破ったうえ野球王国アメリカさえも下す大活躍で、韓国民を沸かせた。韓国では野球はサッカーと違ってマイナー。WBCでも期待はさほど大きくなかった。それがふたを開けると意外

と強い。とくに日本を負かした試合では野球のルールを知らないはずの女性たちも熱狂していた。こういうときには韓国にいる悲哀を感じる。代表チームと韓国民を熱くさせたのは、イチロー選手の「30年間は日本と戦おうと思わないほどやっつける」という趣旨の発言だった。それで燃えて日本を破ったのだと思う。

結局、韓国は準々決勝で日本に敗退し、韓国に2度まで負けた日本が優勝してしまったが、韓国民の気持ちは収まらない。韓国野球委員会の辛相佑総裁は「秋のシーズン終了後に韓国で再び韓日戦をやろうという申し出を日本側が断るはずがないと思う」と語っている。



さて韓国2番目の財閥である現代自動車グループに対する検察の捜査が拡大している。現代自動車は外貨危機直前に経営が駄目になった起

亜自動車を系列に組み込んで国内市場を抑え、アメリカでの販売も好調な優良企業だが、子会社との経理操作を通じて数百億ウォンという巨

額の裏金を作り、これを使っていろいろな許認可や自分たちに有利な制度・政策を推進していたとみられる。またオーナー親子の財産相続の疑いもある。こうした官界・政界工作は、現代だけでなく、他の財閥も含めて日常的に行われているとみるのが一般的だ。



そういえば、2月には三星財閥のオーナー一族が、8000億ウォンという巨額の財産を奨学金などに提供すると発表して、社会を驚かせた。盗聴事件で明らかになった先の大統領選挙でのハンナラ党への巨額の寄付や相続疑惑など社会からの批判に対する謝罪の証しだった。このため現代自も同じような謝罪寄付を検討しているという。

現代自動車事件で明らかになったのが、金融ロビーストという存在だ。金在録というロビーストは、金大中政権に食い込むとともに、焼酎の真露や韓国外換銀行など多数のM&A（企業

4年に1度の地方選挙が5月31日に投票が行われる。ソウル特別市と6つの広域市、9つの道の合計16の広域自治体の首長と議員、その下の基礎自治体の77市、88郡、69区の首長と議員の選挙が、7月1日から基礎自治体が廃止される済州道を除いて一斉に行われる。地方の首長や議員は、ほとんど中央政界の各党に所属していて無所属はめったにいない。そして圧倒的に野党であるハンナラ党が制している。このため与党ウリ党は、せめてソウル市長と京畿道知事を奪還しようと躍起だ。地方選の結果が来年の大統領選挙や08年の総選挙に影響するからだ。

最後に観光情報。▽大統領府・青瓦台前の道

買収)にかかわっていた。

折りしも韓国外換銀行は韓国トップの国民銀行に買い取られることになった。日本の旧東京銀行にあたる韓国外換銀行は外貨危機で経営が悪化し、政府が51%の株式を買収し、それをアメリカの投資ファンドのローンスターに売却した。このときに外換銀行をわざと低く評価してローンスターに安く買い取らせた役人らがいたようだ。ローンスターはわずか2年8カ月後に、経営が立ち直り株価が上がった韓国外換銀行を国民銀行に売却することで、その差益4兆2500億ウォンを手にすることになった。これは投資額の3倍を超える大もうけであり、いわば火事場泥棒、まさに「はげたかファンド」である。

しかもローンスターはソウル江南の大きなビルを売った際の税金1400億ウォンを未納のまま韓国から撤退の構えを見せている。もともとローンスターは韓国外換銀行を引き受ける資格がなかったのではないかと、それなのに、どうして政府は株式を売却したのか、などなど疑問が出てきている。野党ハンナラ党は外資の規制策を検討するとともに、国会での国政調査を要求している。

こうした事件捜査は統一地方選挙が迫っていることとは関係ないと考えたい。盧武鉉政権になってから検察の政府からの独立がなされたはずだからだ。たまたま時期が同じになっているだけだろうか。だが、次はどこかと各財閥は心中穏やかではないはずだ。

路で、毎週金曜日午前10時半から1時間、軍楽隊のパレードが行われるようになった。伝統衣装の朝鮮王朝時代の軍楽隊も加わる。金曜を除く毎日は、午前10時からと午後2時からの2時間ずつ、警察部隊のパレードがある。白バイ隊、自転車隊、インラインスケート隊、騎馬隊が登場する。▽清溪川(チョンゲチョン)を市営の2階建てバスで往復観光はいかが。ドイツ製74人乗り、主な橋に停留所がある。▽少し先だが、仁川空港と金浦空港を結ぶ電車が来年3月に開通する予定。金浦空港には地下鉄5号線が伸びているため、電車の乗り継ぎで市内に入れる。



## ◇お知らせ・紹介

この欄は、会員の皆さんへ各種ニュースや1～3ヵ月先のイベントのお知らせや、その他もろもろの紹介をしていきます。会員の皆さんからの情報も待っています。

### 第7回 韓日歴史・文化フォーラム

日時 2006年7月5日(水) 午後6時開演(午後5時 受付開始)  
会場 民団愛知県本部(愛知韓国人会館) 5階ホール  
名古屋市中村区亀島1-6-2 ? 052-452-6431  
地下鉄東山線「亀島駅」下車、(火)番出口から西へ徒歩1分  
会費 500円 主催 韓日歴史・文化フォーラム実行委員会

参加方法: 事前登録をしていただくか、当日会費をご用意の上、そのままお越し下さい。  
FAX 052-452-1716 Eメール: jigyo@mindan-aichi.org  
会場には駐車場がございませんので、当日お越しの際は公共交通機関をご利用下さい。

テーマ 『古墳文化に見る韓日文化交流』

- 1) 韓国三国時代(古墳文化)の日本の古墳時代成立の背景
- 2) 高句麗・百済・新羅の古墳文化概説
- 3) 伽耶の古墳文化と日本の古墳文化
- 4) 金海・釜山地域の伽耶古墳と日本の古墳文化
- 5) 韓半島南西部の前方後円墳成立の歴史的背景 など

## ≪李京順 Lee Kyong Sun ライブ≫

「春に歌う～風・たおやかに～八事II」

昨年秋に続き、ふたたびの名古屋ライブ!

日時 4月26日(水) 午後7時～9時

場所 POP CORN

名古屋市昭和区広路町石坂38早川ビル1F

地下鉄八事3番出口より八事交差点方面すぐ

P八事石坂24時間駐車場利用可



<http://www.cafe-popcorn.com>

TEL 052-833-1953

料金 ¥3000 (2ドリンク付)

～シャンソン・ジャズ・スタンダードを中心に  
春の訪れを歌います～

## ♪ 李京順 プロフィール ♪

平壤出身の故父、大邱出身の母との間に東京にて生まれる。

7歳よりピアノと歌とを習う。

小中学校の間「松村頼子」の名でNHK児童合唱団にて「みんなのうた」等レギュラー出演。

中学よりクラシック声楽を故鈴木弘子女史、ピアノ・ソルフェージュを古橋富士雄氏に師事。

朝鮮大学卒業後、音楽活動に入る。

ソロ歌手として1989年より活動開始。

1991年李京順リサイタル「風たおやかにコンサートシリーズ」初演し、以後ライブ活動のかたわら40回を数える。

その間各地を回り、地域密着全国演奏活動を展開。

現在千歳の「Live Lee」ほか、浦和を拠点に音楽活動中。

オリジナルCD「～風・たおやかに」発売中！

ご希望の方は

- ・参加人数
- ・代表者お名前を

tanqueray-ken@ezweb.ne.jp または 090-4250-6989

大西さおり までお知らせ下さい

(当日清算となりますが、確実にお席をご用意します)

## ノルムマチ・サムルノリ来名！

## 「韓(から)の音・人・風の舞」

ノルムマチ・サムルノリ & Friends

featuring 鶴舞 [ハクチュム] ノリパン

韓国で動員記録塗りかえ現在も大ヒット、ついに来春日本での上映が決まった映画『王の男』。李朝の王・燕山君に魅入られた放浪芸人が主人公のこの映画で放浪芸の指導と、放浪芸人としても出演をしたのが、金株弘(キム・デュホン)氏率いるノルムマチ・サムルノリ。今来日公演では『王の男』の音楽を交えて、韓(から)の国の伝統音楽の新たな風をお届けします。

ノルムマチ・サムルノリ：伝説の名ケンガリ奏者李光壽氏が1993年旗揚げ。伝説のリズムを持つ  
情感の表現に特にこだわる彼らの演奏は、洗練され美しく力強い印象を  
与える。また、代表金株弘氏の天性の声を生かした「ソリクッ」は数ある  
サムルノリグループの中でも異彩を放つ。

とき : 2006年5月6日(土)  
ところ : 名東文化小劇場(地下鉄「上社」駅上)  
: [http://www.bunka758.or.jp/02shisetsu/02shisetsu\\_10.html](http://www.bunka758.or.jp/02shisetsu/02shisetsu_10.html)

開場 : 18:30 開演 : 19:00  
入場料 : 一般 3000円(全自由席)、中高生 2000円(全自由席)

主催 : ノルムマチ・サムルノリ、ノリパン  
後援 : 韓国文化芸術委員会  
ノリパン ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/noripan/net/>

#### 編集後記 (2006/4/12)

会報 No. 33 をお届けします。ある番組の天気予報で、「今年は長く桜が楽しめます」と言っていましたので私はのんびり構えていたのですが、急に天気が荒れて一気に葉桜になってきましたね。皆さんは綺麗な桜を見ることができましたでしょうか。年明けから豪雨や数年ぶりの黄砂もあって今年は天候が荒れそうな雰囲気がしてきました。私個人的な出来事ですが、今年に入ってから既に傘が3本も骨が折れて使い物にならなくなりました。

日韓関係は「2005年の友情の年」も終わり、今年は大きな出来事はないかなと思っていましたが、ワールドベースボールクラシックで日本と韓国が3回も試合があり、その度毎に盛り上がっていましたね。この事に関しては「ソウル通信」にも取り上げられています。それから6月にはドイツでサッカーのワールドカップが開催されます。予選では直接対戦する事はありませんが、日本と韓国はお互いに意識し合うでしょう。また、会報を編集しているときに、北朝鮮の拉致問題で韓国の拉致被害者の存在も認められました。日韓が協力して拉致問題を北朝鮮に迫れば、事態が急変するかもしれないですね。やはり今年も日韓関係はスポーツ・社会問題など含めて注目されそうです。

---

池貴己子さんのイラストは、NHK ラジオ講座 1996年度から、韓国の古典を題材としたものです。

編集 : 早川 潤 〒472-0002 知立市来迎寺町木ノ根田 10-4  
TEL/FAX 0566-82-5466 MAIL [junhykw@pop12.odn.ne.jp](mailto:junhykw@pop12.odn.ne.jp)